

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 6月 9日
11時 29分受付 ①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 6 月 9 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤理恵

質問事項

1. 物価高騰対策について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨（課題・問題点等）

エネルギー・食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業に実施できるよう、国は地方自治体に「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を総額4兆5,254億円の予算組みをされ、低所得世帯の支援などをしてきたところである。

物価高騰の影響は今後も見通しが立たない中、市として現状をどのように把握し、市独自の支援策などを問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 物価高に対する市民の声や困り具合についてどのように把握しているかを問う。
- (2) これまでの国の交付金を活用した支援事業の実績について問う。
- (3) 今後の市の対応方針と市独自の支援策について問う。

質問事項

2. 「交流の場」としての図書館のあり方の検討について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨（課題・問題点等）

これからの図書館には、知識基盤社会における知識・情報の拠点として資料の充実を図るとともに、利用者及び住民の要望や社会の要請に応えるための図書館サービスの充実を図ることが望まれている。

所信表明では「交流の場」として、図書館のあり方について検討するとしているが、具体的にどのように進めていく予定なのかを問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 図書館サービスの現状について問う。
- (2) あり方の検討に至った経緯について問う。
- (3) 具体的な検討の進め方について問う。
- (4) 人人体制について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 6月 5日
9時 55分受付 ②番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 6 月 5 日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 小郡市の財政の現状と今後の見通しを問う 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

三井消防署・給食センター・体育館等の建て替えと庁舎建設・種々の公共事業が予定されているが、財政負担の基本的な考え方と今後の財政状況の見通しを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 給食センターのPFI方式のメリットの金額及びプロポーザルの内容について問う。
- (2) 給食センターの追加工事の内容と液化化ハザードマップについて問う。
- (3) きぼうの森の樹木の伐採について問う。
- (4) 給食センターの追加負担について問う。
- (5) 予定される公共事業とその負担について (体育館、庁舎建設等) 問う。

質問事項

2. ふるさと納税の現状と今後の対応を問う 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

ふるさと納税が令和6年度は5年度に比べ2億円程度減っているが、令和3年度以降の推移を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 令和3年度以降のふるさと納税額の推移と経費の推移について問う。
- (2) 令和3年度以降の他自治体への寄付額の推移と実質収支の推移について問う。
- (3) 今後の方針について問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 6月 9日
11時 31分受付 ③番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 9日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場美紀

質問事項

1. 所信表明について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市長の3期目における所信表明を受け、小郡市政のこれからの4年間にわたる重点施策やまちづくりの方向性などについて、会派の総意に基づき確認するもの。

所信表明で掲げられている多岐にわたる構想や制度について、市民や関係者との共創の姿勢がどのように確保されるのか、持続可能な運用に向けた専門性や予算などの考え方について問い、市政運営の具体像を明らかにしたいと考える。

あわせて、各施策において小郡市独自の工夫がどのように打ち出されるのかという点においても確認し、市長の目指す小郡らしいまちづくりについての考え方を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 未来へのまちづくり地方創生の加速やエリアビジョンの推進における住民の合意形成のあり方、農業や地域資源を活かした小郡らしい持続可能なまちづくりの方向性を問う。また、地方創生伴奏支援員の活用と、その成果の可視化に向けた考えを確認する。
- (2) 誰もが住み心地の良いまちづくり重層的支援体制の整備、居場所や交流の場としての図書館のあり方について、組織の体制づくりや、市民に寄り添うまちづくりの今後の展望を問う。
- (3) 子育てに良いまちづくりこどもまんなか社会の推進について、主に第3の学び場作りの考えを問う。
- (4) 災害対策による安心して暮らせるまちづくり主に大規模災害におけるガイドライン策定、救急体制の強化についての考えを問う。
- (5) 新たな行政運営へサンセット方式及びコア業務とノンコア業務等について、これまでの具体例や今後どのように市民へ可視化していくのかを問う。職員の意欲を高める仕組みと、ウェルビーイング指標の活用における市民参加のあり方について問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 7年 6月 2日
10時 18分受付 1番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年6月2日

会派名 みらいの会

小郡市議会議員 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒 岩 重 彦

質問事項

1. こども計画策定による「こどもまんなか社会」について 【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

今現在、我々が暮らすこの社会では、こどもに関わる色々な問題が発生しており、併せて、少子高齢化の影響で出生率も減少しており、こどもの数が年々減少している。

このような状況を踏まえ、国においては、令和5年4月に「こども基本法」の施行と併せて「こども家庭庁」を発足し、同年12月には「こども大綱」が策定された。それを受けて、令和7年3月に福岡県は「こども計画」を策定し、同様に本市においても令和7年4月からの5年間の「小郡市こども計画」を策定している。

この「小郡市こども計画」は、こども・子育て関連計画を統合した一体的な計画として策定されており、また計画の対象を幅広く0歳から39歳までの「こども」・「若者」としており、切れ目のない支援を取り組んでいく方針が打ち出されている。また、こどもの視点に立った当事者目線の政策を強力に進めていくために、こどもに関する取り組みや政策を社会の真ん中に据え、こどもの視点でこどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、こどもの権利を保障し、だれひとり取り残さない、こどもたちの健やかな成長を社会全体で後押しすることを目的とされている。

そこで、この計画に基づき、具体的にどのような事業に取り組み、政策を展開していくのか市としての見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) こどもたちが健やかに育っていくためのこれからの新たな取り組みについて問う。
- (2) 人口減少社会とこどもたちの未来について問う。
- (3) こどもの人権を守るために大人ができることについて問う。
- (4) こどもの居場所づくりについて問う。
- (5) こども施策の具体的な事業実施の際、こどもたちや保護者からの意見の聴取においてSNS等を活用した取り組みについて問う。
- (6) 子育て応援基金の創設やふるさと納税を活用した財政的支援について問う。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 3日
9時 11分受付 2番

令和 7年 6月 3日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田 典彦

質問事項

1. 小郡市のこどもの健康、医療について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

市ではこども家庭支援センターを国の指針より 1 年前倒しで 2023 年 4 月に開所し、こどもの政策、支援に対していち早く取り組んでいる。

しかし、2024 年の出生数は過去最低の 68 万 6 千人であり、小郡市も同様に少子化に歯止めがかからない。一昨年にも質問したが小郡市でこどもを安心して育てるために、こども医療費、健診の拡充について市の取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在のこども医療費の助成額の拡充また、対象の拡大について問う。
- (2) こどもの発育、健康状態を確認する乳幼児健診に 5 歳児健診を導入することができないか市の見解を問う。

質問事項

2. マンション長寿命化促進税制について 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

マンションの大規模修繕をすると固定資産税が減額されるが小郡市内のマンション修繕に対してこの国の減税措置の活用状況について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市内マンションの老朽化の現状及び、対象マンションの修繕工事、期間など減税措置条件を問う。
- (2) 固定資産税の減税額はどれくらいかを問う。
- (3) 小郡市において長寿命化促進税制の具体的な減税の条件整備は出来ているかを問う。

(~~一般~~・代表)質問通告書

令和 7年 6月 6日
11時 32分受付 3番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 6日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 川野 悦子

質問事項

1. 困難な問題を抱える女性の支援について 【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

2024年4月に国が施行した「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)は、生活困窮、性暴力被害、家庭関係破綻など複合的な困難を抱える女性に対し、切れ目のない包括的な支援を行うことを明確に示している。

特に若年層の女性が置かれた状況は深刻であり、適切な支援にたどり着けない現実がある。

福岡県では「困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画」が策定され、市町村が支援の主体として位置づけられている。

本市においても第3次男女共同参画計画でDV被害者支援等の取組みを進めているが、女性支援新法の施行を受け、本市における困難な問題を抱える女性への支援体制の現状と今後の充実・発展に向けた取組みについて問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 現在までの女性相談の件数や相談内容の傾向、また支援につながらなかったケースなど、本市の相談支援の状況と課題について問う。
- (2) 関係部署や関係機関との情報共有体制の現状と課題について問う。
- (3) 福岡県や周辺地域の関係機関等との連携状況など具体的内容について問う。
- (4) 関連する民間団体との連携について問う。
- (5) 本市での基本計画策定について問う。

質問事項

2. 人生100年時代を支えるアクティブシニアの活躍支援について 【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

本格的な超高齢社会を迎える中、2025年問題により我が国の65歳以上の人口が約30%に達し、社会保障制度の持続可能性や労働力不足が課題となっている。

本市においても高齢化率が上昇する中、豊富な知識・経験を持つ前期高齢者層「アクティブシニア」の方々が、地域で活躍し続けられる社会の実現が重要であると考えます。

アクティブシニア層の豊かな経験と能力を地域社会で最大限に活かし、世代を超えて支え合う持続可能な実現にむけた小郡市の取組みについて問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 就労支援や地域活動支援、ボランティア活動への参加促進について本市の現状と今後の取組みを問う。
- (2) フレイル予防や運動機会、健康づくりの促進についての取組みと今後の展開を問う。
- (3) 生涯学習プログラムやアクティブシニア層の知識・技能継承の仕組みづくりについて、現在の状況や考えを問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 7年 6月 6日
11時 44分受付 4番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 6日

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

新 原 善 信

質問事項

1. 第3の学び場構想および子どもや高齢者の居場所づくりについて【補助資料 有・**(無)**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市内小中学校の不登校児童生徒はかつてない増加傾向にある。これに対し、市教育委員会はこれまで中学校における支援教室の設置、教育支援センター「りんく」、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置、昨年からはまった小学校4校でのスペシャルサポートルーム設置などに取り組んできた。また、子どもや高齢者の居場所づくりについては、子育て支援センター、学童保育、各行政区やまちづくり協議会等においてふれあいネットワークやサロン・カフェ事業に取り組んできた。当然それぞれの場所で多くの人々がそれらに従事し努力を重ねてきている。そのような中、今議会の市長所信表明において「第3の学び場づくりの検討」および「幅広い世代の拠り所として図書館の在り方の検討」が打ち出された。そのために、4月より新たな役職が外部より登用されている。ところが、このことについて庁内外での共通認識、情報共有がこれまでのところ十分なされているとはいいいえず、戸惑いが見られる。そこで、市長は「第3の学び場構想および子どもや高齢者の居場所づくりについて」どのようなビジョンを描いているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 「第3の学び場構想」について市教育委員会とはどのような協議がなされてきたか。
- (2) 「子どもや高齢者の居場所づくり」についてそれぞれの担当部署とはどのような協議がなされてきたか。
- (3) 構想のために新たに配置された人材の担う役目は何か。また、人材登用の経緯はどうか。
- (4) 今後、全庁的に構想を進めていくために関係部署との情報および目的の共有、連携・協力の関係をどのように構築していくか。

質問事項

2. 物価高騰による生活困窮者支援について【補助資料 有・**(無)**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

米の価格高騰を筆頭にあらゆる物価、人件費が上がっている。これに対し実質賃金は下がり続け、基礎年金も物価上昇に追いついていない。このため、市民の多くに生活困窮が進行している。これに対し国は、令和5年1月に非課税世帯に7万円の給付を行った。その後数度にわたり給付が行われ現在、1世帯3万円、子ども加算一人あたり2万円の給付が行われている。これらの給付は一定の支援効果をもたらしているが十分とは言えない。特に生活困窮者が陥りやすい孤立化、栄養不良、病気・医療、教育・子育ての困難さなど生活のあらゆる面で大きな影響が出ている。これに対し小郡市は、どのような支援を行っていくかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 市内の生活困窮者の実態はどうなっているか。
- (2) これまで国の支援給付はどのような内容でなされてきたか。
- (3) これまで小郡市の各所管課で生活困窮者への支援はどうなされてきたか。
- (4) 生活困窮者への支援を行っていくための全庁的連携・協力体制はどうなっているか。

(一般)代表)質問通告書

令和 7年 6月 6日
14時 27分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 6日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 内 山 伸 博

質問事項

1. 治水・水害対策の現状について

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

本市は、近年の水害対策として宝満川や支流河川の堰、農業用ため池の先行排水を施設管理者に依頼されているが、その現状と効果について問う。また、農業用ため池の貯水能力向上のため堆積土砂撤去の推進状況及び流域治水に係わる関係市町村との連携状況について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）宝満川にある4つの堰の先行排水状況について問う。
- （2）農業用ため池の先行排水状況について問う。
- （3）「内畑堤」や「野口（小）堤」の堆積土砂の撤去について問う。
- （4）調整池の浚渫状況について問う。
- （5）排水ポンプ設置状況について問う。

2. 消防水利の現状について

【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

消防水利には、河川、ため池、水路、防火水槽、消火栓等があるが、夏場の火災時には、河川、ため池、水路も活用できるが、冬場は基本的には活用できない。初期消火には、防火水槽や消火栓が重要となるが、小郡市の防火水槽や消火栓の現状について問う。

- （1）消防水利1ヶ所当たりの利用範囲について問う。
- （2）消防水利の個所数について問う。
- （3）防火水槽、消火栓の維持管理について問う。
- （4）防火水槽新設について問う。
- （5）水防倉庫に配置されている排水ポンプについて問う。

(**一般**・代表)質問通告書

令和 7年 6月 7日
9時 42分受付 6番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 6月 7 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 深川博英

質問事項

1. オリリン、ヒコリンについて

【補助資料 有・無**】(市長)**

質問要旨（課題・問題点等）

小郡市観光大使である「オリリン」と「ヒコリン」は市内外の様々なイベントでPR活動を行っているが、著作権の問題や、イベントへの参加依頼の申し込み方法がわからないとの声がある。現在どのようになっているのかを問う。

質問明細（具体的に）

- （１）著作権はどこが管理しているのか。
- （２）申し込み方法はどのように行うのか。
- （３）参加できるイベントや参加できないイベントはどのようなものがあるのか。
- （４）印刷物への使用は可能か。

(一般)質問通告書

令和 7年 6月 8日
23時 47分受付 7番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 8日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. 食品ロス削減について

【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

国内における食品ロスの発生量は令和3年度で約523万トンも発生している。この量は、食料支援機関である国連WFP(国連世界食糧計画)が2021年に実施した食糧支援量の約1.2倍にもなり、貧困や災害時の緊急支援など、世界の人々に対して支援される食品の量より、日本で廃棄される量の方が多い現実がある。食品ロスの削減は国際的にも重要な課題となっており、我が国においても、国、地方公共団体、事業者、消費者等の多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進するため「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年5月31日に公布、10月1日に施行された。ここ福岡県でも食品ロス削減推進計画が策定されており、食品ロス削減を推進していく社会を目指している。では、小郡市において食品ロス削減へ向けてどのようなことを実施しているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 食品ロス削減のためにどのようなことを実施しているのか。
- (2) 3010(さんまるいちまる)運動への取組はどのようにしているのか。
- (3) 「食べもの余らせん隊」登録店を把握しているのか。普及しようとしているのか。

質問事項

2. 小郡が考える今後の保育園・保育所について【補助資料 無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

2024年に生まれた子どもの数は68万6061人で、1899年の統計開始以降初めて70万人を割り込んだ。また、女性1人が生涯に産む子どもの推定人数「合計特殊出生率」は1.15で、過去最低となった。少子化は想像を超えたペースで進んでいると言える。その中で、小郡市は保育園の新設を進めており、今年度、小規模保育園2園が開所した。さらに、来年度には定員100名の保育園と定員60名の保育園、2園が開所予定である。「こども誰でも通園制度」の開始など保育のニーズが増えることも予想されるが、同時に、他地域では少子化の加速による保育園の閉園が発生してきている。今年3月には、地域で80年以上にわたって子どもたちを受け入れてきた福岡市内の保育園が経営難を理由に閉園した。小郡市として今後の保育ニーズ、量についてどのように考えているのか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 保育士不足に対して小郡市として、これ以上出来ることはないのか。
- (2) 定員の弾力運用をしているが、今後の考え方について問う。
- (3) 日曜保育・祝日保育についての考え方について、令和4年に具体的な調査を始めるとのことだったが、調査結果はどうだったのか。

(一般)質問通告書

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

3. 所信表明の「誰もが住み心地の良いまちづくりへ動き出します」の中の市民相談窓口について 【補助資料 無】(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

加地市長の3期目が始まり、所信表明が発表された。その中の1点、誰もが住み心地の良いまちづくりへ動き出すという項目の中で、「NOハラスメント社会の目標を掲げ、今年度中に市民の皆さんをハラスメントから守り、ハラスメントの無い小郡市とするために条例を制定し、市民相談窓口の設置などの取組をおこないます。」とある。

令和7年3月議会で可決した「小郡市長等、職員及び議員のハラスメント防止等に関する条例」は、市長や我々議員などから職員へのハラスメントの防止ということなどで、分かりやすかった。しかし、所信表明をそのまま読むと、あらゆるハラスメントを対象にしているように受けとれる。それで正解なのか。この市民相談窓口とは、いったいどのようなイメージなのか。前述したように市民同士のありとあらゆるハラスメントの相談を受けるのか。どのような市民相談窓口となるのかを問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 市民相談窓口とはどのようなハラスメントの相談を受けるのか。
- (2) 顧客による従業員への著しい迷惑行為「カスタマーハラスメント(カスハラ)」への対策を企業に義務付ける改正労働施策総合推進法などが6月4日の参議院本会議で可決、成立した。相談窓口の設置や対応方針の明確化などを企業に求める内容になっている。また、カスハラの定義を「顧客や取引先、施設利用者などの言動で、それが社会通念上許容される範囲を超えたものにより雇用する労働者の就業環境が害されること」とされた。小郡市として市職員へのカスハラが発生した場合に対する考え方を問う。

(一般代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 9日
6時 38分受付 8番

令和 7年 6月 9日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋 間 順 平

質問事項

1. 財政状況について尋ねる

【補助資料 有・**(無)**】(市長)

質問要旨(課題・問題点等)

小郡市の一番大きな問題となっているのは少子高齢化であり、高齢化により仕事からリタイアによって所得も下がることで税金が減少する。人口減少によって市の財政状況が厳しくなる中で、市体育館建設をはじめ、学校給食センター、消防署庁舎建設等で、約100億を超える事業が行われる。また、市庁舎はじめ、文化会館、運動公園、総合保健福祉センター等の老朽化公共施設の更新・維持補修費の増大は避けられない状況下で、地方交付税や社会保障の財源としても活用されている消費税の減税がささやかれている中で、小郡市は、今年度、補正を含めて270億を超える過去最大規模の予算になっている。限られた財源の中で、未来に負の遺産を残さず、持続可能な市の運営を将来にどの様に引き継ぐか、長期的な市の財政運営に関して問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 歳入・歳出及び財政指標(過去10年)について問う。
- (2) 基金残高について問う。
- (3) 今後の公債費の支払いについて問う。
- (4) 義務的経費の増額と今後の見通しについて問う。
- (5) 消費税減税が行われた場合の小郡市への影響額を問う。
- (6) 新たな財源の確保など工夫をしながらの取組みについて問う。
- (7) クラウドファンディングや企業版ふるさと納税の活用で財政負担の軽減について問う。

質問事項

2. 児童・生徒の通学路に関して問う

【補助資料 有・**(無)**】(市長・教育長)

質問要旨(課題・問題点等)

全国で登下校中の児童が巻き込まれる交通事故が相次いでいる。小郡市は、朝夕の車両も多くなり、特に大型トラックの交通量が多くなっている。住宅街を通り抜ける車両も多くなり、住民が事故に遭遇する危険性が高まっている。児童・生徒の登下校の危険な道路の拡幅工事、歩道の整備について問う。

質問明細(具体的に)

- (1) 県道14号朝倉鳥栖線の御原小学校の道路拡幅工事と歩道について問う。
- (2) 県道734号味坂小学校前の道路拡幅工事、歩道整備について問う。
- (3) 県道88号横隈交差点の古賀区から横隈区の山下クリニック前の道路拡幅と歩道の整備、信号機設置、グリーンベルト設置について問う。
- (4) 横隈から力武への道の拡幅工事、グリーンベルトの塗り替えについて問う。
- (5) 三国小学校の北側の三沢駅から県道88号線(コバック小郡店)まで道路拡幅工事とスイミングスクール前通学道路の道路整備について問う。

(**一般**・代表)質問通告書

令和 7年 6月 9日
8時 44分受付 9番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7 年 6 月 9 日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小 野 壽 義

質問事項

1. 市の治水対策と流域治水について【補助資料 有・**無**】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

毎年、温暖化が進み気候変動の影響で豪雨災害が日本各地で発生し、その被害は甚大なものとなっている。豪雨災害は、市町村単独の被害では済まず複数の市町村に及ぶことから、国は流域治水の取り組みを推進している。

小郡市の中央を流れる宝満川の流域自治体は筑紫野市、筑前町、久留米市、鳥栖市、基山町で、支流河川の主なものは宝珠川、草場川、高原川、鎗巻川、築地川、秋光川、思案橋川など多くの河川が宝満川へ流れ込んでいる。

国、県が不要な堰の撤去や河床の浚渫工事などを行っていることで、豪雨災害に対して成果を上げているが、関係自治体が本格的に流域治水に取り組むことで、更なる豪雨災害の軽減効果に繋がると考える。そこで、市の治水対策と流域治水の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 所信表明で多種多様な治水対策と言われているが、多種多様な治水対策とはどのような対策か問う。
- (2) 令和7年度の主な施策で、利用されなくなった農業用ため池を雨水調整池へ転換し、利活用の検討を行うとあるが、どのような利活用を行うのか。
- (3) 市内で農業用水でない調整池はどれくらいあるか。また、利活用について問う。
- (4) 県の調節池があるが一時雨水貯留池としての活用はできないか市の見解を問う。
- (5) 雨水貯留タンクの取り組みについて問う。
- (6) オンサイト貯留施設設置について問う。
- (7) 陸上競技場北側にある多目的グラウンドを貯留施設として利活用できないか。
- (8) 流域治水の取り組みの一つ、田んぼダムによる効果と今後の課題について問う。
- (9) 流域治水の取り組みについて、県の指針を踏まえた市の考え方を問う。
- (10) 流域治水の取り組みについて、近隣市町村との連携協議は行われているか。

(一般)代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 9日
11時 58分受付 10番

令和 7 年 6 月 9 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 宝満川左岸地域の振興について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市の人口はここ 10 年、ほとんど横ばいで推移しているが、宝満川左岸地域においては、御原校区を除いた、立石校区・味坂校区とも、高齢化率が高いことも相まって、減少幅が大きい状況にある。御原校区にあっても農村地域では同じ状況がみられる。加地市長は 3 期目就任の所信表明の中で「未来へのまちづくり」として、大きく 3 つのエリアの取り組みが示された。その一つに宝満川左岸地域の移住・定住と振興のための施策に取り組むとある。移住・定住を図り、地域の活性化や地域振興を図っていくことは極めて重要と考える。市として移住・定住の促進をどう取り組んでいくのか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 宝満川左岸地域の人口減少の要因や課題について問う。
- (2) 地域未来投資促進法によって、未来をどのように展開していくのか。
- (3) 魅力ある住環境の整備や若者や子育て世代が定住しやすい環境づくりについて問う
- (4) 地方創生伴走支援員による伴走支援の実施状況について問う。

質問事項

2. 米価高騰について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

随意契約で放出された政府備蓄米の店頭販売が始まった。価格は政府の狙い通り、5 キロ 2000 円程度で、値上がり前の水準となっている。米農家は、コメ離れを防ぐ狙いには理解を示すものの再生価格を求めている。米が適正価格で販売され、生活が成り立てば、若い農業者が増えると思うが、市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) コメ価格の推移について問う。
- (2) 価格高騰の要因について問う。
- (3) コメの価格高騰に対する市の対策について問う。
- (4) 学校給食への影響について問う。

(~~一般~~・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 6月 9日
12時 31分受付 11番

令和 7 年 6 月 9 日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美 _____

質問事項

1. 資格確認書の送付について

【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和6年12月2日より、被保険者証(現行の保険証)が新たに発行されなくなり、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行した。しかし、医療機関でのトラブル等により、マイナ保険証を利用する方は、3割程度にとどまっている。私は、現行の保険証を残し、自分の意思により、どちらでも使えるようにすべきであると考えます。

今後、7月31日に有効期間が切れる国民健康保険・後期高齢者医療の被保険者証の代わりに、『資格情報のお知らせ』や『資格確認書』が送付されるとのこと。そこで、小郡市のマイナ保険証の利用現状と『資格確認書』の送付について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) マイナ保険証の利用状況・医療機関の現状について問う。
- (2) 『資格情報のお知らせ』『資格確認書』とは、どのようなものなのかを問う。
- (3) 『資格情報のお知らせ』『資格確認書』の送付の仕方について問う。

質問事項

2. 地域包括ケアシステムの構築について

【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

厚生労働省においては、2025年(令和7年)を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進している。

第6次小郡市総合振興計画の基本政策の一つでもある、「支え合い健やかに暮らせるまちづくり」を進めていくためにも、地域包括ケアシステムの構築は重要である。

そこで、小郡市における現状と課題、今後の取り組みについて問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 地域包括ケアシステムの意義とメリットについて問う。
- (2) 地域包括ケアシステムの構築について、現状と課題について問う。
- (3) 地域包括ケアシステムの構築について、今後の取り組みについて問う。

(~~一般~~・代表)質問通告書

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美

質問事項

3. 落雷から児童・生徒を守る取り組みについて 【補助資料 有・~~無~~】(教育長)

質問要旨（課題・問題点等）

近年、地球温暖化の影響等により、雷の発生頻度が増し、激しい降雨が短時間で集中する傾向がみられる。学校では、落雷事故が繰り返されており、文部科学省は「落雷事故の防止について」（令和7年4月11日付け事務連絡）を発出。

小郡市は、この通知を受け、どのように対応しているのか問う。

質問明細（具体的に）

- （１）落雷事故に対する認識について問う。
- （２）落雷事故防止に対する取り組みや教師や児童生徒への周知について問う。

質問事項

4. 人事案件について 【補助資料 有・~~無~~】(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

今年4月半ばに、人事案件の連絡で、『教育部生涯学習担当理事』と言う役職での知らせあり。初めて聞く役職であり、その業務内容や、給料の位置づけ、決定権について問う。

質問明細（具体的に）

- （１）業務内容について問う。
- （２）給料の位置づけ・決定権について問う。